

活動報告書(10月～12月)

プロジェクト名:同志社バーチャルキャンパスプロジェクト D-verse

作成者:永井康仁

1. 10月～12月の目標

1. 10月から12月にかけて、以下の目標を設定し活動に取り組んだ。

- (1) 宝探し機能の実装
- (2) 既存キャンパスの機能充実
- (3) 外部出展

2. 活動内容とその成果

*イベント別、チーム別、月別などカテゴリごとに分かりやすく分け、自由に記述してください。画像添付可。

(1) 宝探し機能の実装

以前より企画していたイベントのため、バーチャル今出川キャンパス内を探索しながら看板に書かれたヒントを見つけ、宝を探すという機能を追加した。キャンパス内に配置されたヒント(図 1)を元にバーチャルキャンパスを散策し、宝が隠されていることを示すエフェクト(図 2)を見つけクリックすることで同志社に関するアイテムを獲得可能であるという機能である。

クローバー祭にてバーチャルキャンパスの展示を行い、来場者に宝探し機能の体験をしてもらいフィードバックを頂いた。

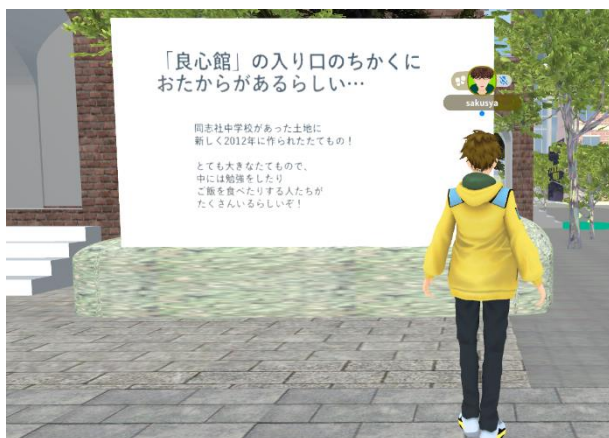


図 1 宝探し機能 (ヒント)



図 2 宝探し機能 (エフェクト)

(2) 既存キャンパスの機能充実

これまでの出展などで来場者からいただいた意見を元にバーチャル今出川キャンパス内の機能充実を行った。以前から度々いただいていた「キャンパスを上から眺めてみたい」という意見から、バーチャルキャンパスの上空へ移動し俯瞰できる機能を実装した。また、「各建物でどのような授業や活動が行われているか

を知りたい」という意見から各建物前に配置されたボタンを押すことで様々な情報を閲覧できる機能を実装した。

(3) 外部出展

ー昨年, 昨年度と同様にけいはんな R&D フェアや, 11/9(日)の同志社ホームカミングデーなどでブース展示を行った。けいはんな R&D フェアではおよそ 375 人, ホームカミングデーではおよそ 120 人の方がブースに来場し, バーチャルキャンパスの体験をしていただいた。

しかしながら, 本年度の目標としていた 150 周年記念の宝探しイベントについては該当機能の実装状況などの要因で実施することができなかった。

3. 今後の活動予定

1 月から 2 月中旬にかけてこれまで行ってきた過去キャンパスの修正や既存キャンパスへの機能追加を継続しながら, 京田辺キャンパスの日糧館付近の実装を行う予定である。その後は来年度への活動に向け各グループにて引継ぎを行う。